

2012年度第8回執行理事会議事録

期 日：2013年2月2日（土）13:00～17:20

場 所：地質学会事務局

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長
齋藤常務理事 井龍 坂口 内藤

中澤 西 平田 保柳 星 松田 山路 山本
（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：伊藤 高木 山口

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者16名，
委任状3名，合計18名の出席。

*前回議事録の確認をした。

I 審議事項

1. 日本学術会議の提言「地質地盤情報の共有化 に向けて」について

学会として賛同する声明をHPおよびニュー
ス誌に公開する。

2. 仙台大会関係

- ・大会業務の委託候補会社の合い見積もりを比較
検討中。内容を詰めて再見積りのうえ決定す
る。
- ・関連学協会に巡検の協賛を依頼する件で，関連
学協会会員の巡検参加費の方針を決定した。各
コースの巡検参加費が確定次第、関連学協会に
依頼状を送付する。

3. 電子出版物について

- ・電子出版された出版物を印刷体として再出版す
る件について。

電子出版の際に著作権は学会に移譲される
ので，そのような事案が発生したときは学会
として判断する。

- ・電子出版の投稿ガイドの詳細を早急に準備する。

4. 地質学雑誌編集委員会規則の改正案

提案された改正案を一部修正して了承され
たが、最終的には編集委員長が確認したうえで、
とした。

（任命・任期）

5. 委員長，副委員長は，正会員の中から執
行理事会が推薦したものを理事会が選出し，
会長が委嘱する。任期は2年とし，再任は妨
げない。任期中に事故あるときは，後任を選
出する。後任の任期は，前任の残任期間とす

る。

6. 委員は正会員の中から編集委員長が指名し，
執行理事会の推薦をうけて理事会が選出し，
会長が委嘱する。なお，編集委員長は指名の
際に，各専門部会に推薦を依頼することがで
きる。

7. 委員の任期は2年を限度とし，委員長の任
期に合わせて全員が交代することを原則と
する。ただし，再任は妨げない。

5. 来年度の事業計画基本方針最終案の策定

12月の理事会での審議を盛り込み、より詳細
を詰める。成文は次回に持ち越し。

6. 総会までのスケジュールの確認

- ・各賞の選考→1月開始 3月中に選考→4月理
事会で確定→総会報告
- ・名誉会員候補者の選出→2月25日締めで募集中
3月中に選考→4月理事会で候補者確定→総
会で決定
- ・次年度予算案 3月中に策定→4月理事会で確
定→総会で決定
- ・決算予想案→4月理事会→会計監査5月連休
明け10日前後→決算確定→総会報告
- ・総会議案決定→3月執行理事会→3月号News誌
掲載→代議員に開催通知

7. 理事会継続検討事項など

1) 中期ビジョンの改定作業について

前回の総括と新提言のWGを立ち上げる（坂
口・井龍）

2) 125周年事業について

事業内容としては、記念式典等のほかに、こ
の四半世紀の各分野の学問的進歩のレビュー
論文集をまとめる方向で検討をはじめめる（齋
藤常務理事）。

3) 論文賞の対象論文の範囲についての検討

4) 名誉会員のあり方の検討について＝シニア会 員の問題など

8. その他

II 報告事項

（1）全体的報告

- 1) 豊中市内、上町断層（仏念寺断層）の撓曲露頭
の調査・保全に関する要望書について

- 学会として対応可能な範囲でサポートする。
- 2) 原子力規制委員会は、活断層調査報告書に対するレビューを実施すると学会に連絡があった。
 - 3) 名誉会のあり方についての検討委員会：議論の現状についてウォリス副会長より報告
 - 4) 2014年の鹿児島大会におけるロンドン地質学会との共同国際シンポジウムについて
津波堆積物をテーマにロンドン地質学会と協議中。

(2) 運営財政部会：総務委員会 (西・山本)
 <共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. International Workshop on the 2011 Tohoku-oki tsunami deposits (東北大学災害科学国際研究所主催、2013/03/18) の共催を承諾。津波ワークショップ第3回の位置づけ。
2. 「立川断層メガトレンチ」一般見学会(主催 東京大学地震研究所 2013/02/08・09) に対し、関東支部が後援を承諾。
3. 山田科学振興財団の研究援助候補者推薦依頼
2件：推薦申請締め切り2/28
下記2件を推薦することとした。
1) 佐藤桂・片山郁夫・加藤文典「日本列島周辺の地質学の啓蒙書としての地質漫画の作成」
2) 飯塚毅・佐野有司・小澤一仁「アパタイトから読み解く原始地球の水とマグマ」

<その他>

<会員>

1. 今月の入会者 なし
2. 今月の退会者 なし
3. 今月の逝去者 なし
4. 2013年1月末日会員数
賛助：27 名誉：69 正会員：3983 (正会員：3786、正(院割)会員：186、正(学部割)会員：11 合計 4079 (昨年比 -68)

<会計>

- ・支部、部会、研究委員会に対し来年度の事業計画および予算案の提出を依頼、2月末まで
- (3) 広報部会：広報委員会** (内藤・松田)
- ・フォトコンテスト応募結果(1/31締切)
応募総数(郵送分含む)：205点。1次審査後、3/4(月)に2次審査実施予定。
- (4) 学術研究部会：行事委員会** (星)
- ・仙台大会について

シンポジウムと市民講演会の内容決定。国際

シンポジウムが検討中。

巡検案内書の投稿編集進行中。冊子体の発行の有無については確認する。

- ・津波堆積物ワークショップ
堆積学会と共催で第4回を仙台大会にて実施予定。プレ巡検とワークショップを検討中。

(5) 学術研究部会：国際交流委員会 (井龍)

- ・タイ地質学会と学術交流協定書の更新文書を交わした。

(6) 学術研究部会：その他

国際年代スケールの日本語版をHPに公開した。

(7) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会 (山路)

- 1) 編集状況報告(1月31日現在)。
・2013年度投稿論文 総数8編 [報告1(和文1)・論説4(和文4)] 巡検案内書3
査読中27編 受理済み23編(うち通常号8 特集号15)
・掲載状況
119巻1月号：通常号(論説3・ノート1・報告2・口絵1：計57頁、発送済)
119巻2月号：構造地質学と応用地質学の接点(2010.4.19受付)
代表世話人：竹下徹(総説6・口絵1：計96頁、校正中、一部は学会HPで早期公開済)
- 2) 地質学雑誌投稿原稿のテンプレートをWordで作成し、学会ホームページ上で公開した。

(8) 編集出版部会：Island Arc編集委員会 (伊藤)

- 1) 編集状況報告 投稿数はやや持ち直しているが、多くはない。
- 2) 新名称募集×切 42案の応募があり現在検討中。

(9) 編集出版部会：企画出版委員会 (山口)

- ・現在、下記の出版が懸案となっているが、やや停滞し、進行が遅れ気味である。早急に適切な対応策を講じる必要がある。

1) リーフレット関係(2件)

三浦半島、長瀬

2) 電子出版関係(2件)

白滝ジオパーク、地学を楽しく

3) 地球史年表

(10) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

- 1) 2013年度地質の日イベントについて(中澤理

事)

「石神井川の河川争奪と地質（仮）」(街中ジオ散歩)の企画を日本応用地質学会と共催で検討中。

2) 2013年度春季地質の調査研修について(中澤理事) 5月下旬に開催予定で日程検討中。

(11) ジオパーク支援委員会 (高木)

・28日に開催された日本ジオパーク委員会の4年目の再審査の結果、洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、アポイ岳、南アルプスのいずれも再認された。

・昨年の世界ジオパークの審査で保留された隠岐ジオパークは、申請書類の不備を修正のうえ年内に審査される見込み。

(12) 地学オリンピック支援委員会 (平田)

1) 1月12日に第6回委員会を開催した。委員会ではH24年の活動報告・H25年の活動方針・第5回日本地学オリンピック予選に関して報告、確認や意見交換を行った。

2) 現在、第5回日本地学オリンピック予選の試験問題の分析をMLにて検討中。

3) 2016年の第10回国際地学オリンピック三重大会を盛り上げるため、今後は様々な側面での支援が必要となる見通し。

2013年3月9日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長(代表理事) 石渡 明

署名人 執行理事 斎藤 眞